



小諸浅間ロータリークラブ

例会日/週火曜日 12:30~13:30 例会場/小諸市鶴巻 音羽
事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
TEL 0267-23-8125 FAX 0267-23-2788

2013-2014 役員

会 長 / 小林 秋生 副 会 長 / 渡辺 文夫
幹 事 / 清水 良英 広報・情報委員長 / 矢島 栄一



点鐘	小林 秋生 会長
SAA	依田 晋一郎 委員長
ソング	奉仕の理想
ゲスト	困碁の里信州小諸づくり委員会 事務局長 伊沢輝男様 鈴木翁之寿碑顕彰会 徳田和美様

【会長挨拶】 小林秋生 会長

雪が降りました。なんて生やさしい表現は出来ませんでした。諸々クィヤー出来ない理由が重なり先週の例会は止むなく中止と致しましたが、申し訳ございませんでした。

しかしまさに豪雪と言うべきでしょう。今もまだ、家の廻りに掻き上げた雪が2メートル近くも積っています。高速道も、一般道も、全ての道路の通行が麻痺をして、何百台ものクルマが閉じ込められて、3日3晩も動けませんでした。私の記憶では何十年振りであります。記憶にある頃は、道路の舗装もあまり無い頃でクルマもあまり走っていませんでした。しかしクルマ社会の現代では、これはアウトであります。

2/15~16は土日曜日で、まだ助かりましたが、月曜日から、長いところでは19~20日まで各学校が休校になりました。スーパーに普段はいっぱい並んでいる玉子、パン、野菜が無くなりました。カップラーメンまで空になりました。私達の工場も部品、製品の出荷が出来ません。

何百台も連なったトラックの中に材料、工業部品、製品、飲食料品が積まれたまま、止っていたのです。この中部地区は工業製品の工場が多いため、この3~4日間の麻痺は大変な打撃であり、トヨタ自動車では四工場が、2日間の休止となりました。(約4,000台の生産が計画変更)。パンが積まれたトラックからは、自主的に運転手等への食料供給などをニュースで見ました。以上はこの豪雪を物語る状況の話してありますが、さて、この豪雪は、災害であります。軽井沢では自衛隊の出勤要請、佐久市では雪掻きボランティアの受入れ等もありました。

出荷を控えた野菜などのビニールハウス被害など、経済的にも途方もなく後遺症を残しました。しかし最後に、2~3の疑問を感じましたので、付

記を致します。それは、この道路の麻痺はどうにかならなかったのか、と言う事であります。聞くところによると、佐久市や東御市では除雪機の設備は無いそうです。と言うと、ちょっと語弊がありますが、除雪作業は全て民間委託で行っているとのことであります。しかしこれは良いのですが、その業者に方法について聞いたところ、「除雪は雪が止んでから掻く」とのことでありました。普段、このような豪雪はあまり無いので、仕方が無いと言えばそれまでですが、日本海側から北海道の豪雪地帯は、除雪のシステムが出来ていてやはり委託の専門業者は夜を徹して降雪中にも何回も掻き歩いて行くようです。掻く端から車は通して淀みを作らないとの事でありました。車列が連なった豪雪道路は、雪が止んだ後でも除雪は困難で自衛隊もてこずっていたようであります。

今回の豪雪は異常気象のせいとも言われていますが、まだあるかも知れません。被災に感じて、勉強しなければと考えた次第でございます。ちょっと長くなりましたが、ご挨拶と致します。

【幹事報告】 清水良英 幹事

1. ロータリーの友事務所より2014~2015年度版ロータリー手帳について
一部 648円
2. 飯田南RCより事務局移転について
3月3日より 〒395-0033
飯田市常盤町41 飯田商工会館2F
3. 小諸高校音楽科演奏会の案内
日時3月15日(土)14時会場 ホク文化ホール
日時3月23日(日)14時会場軽井沢大賀ホール
4. 例会変更
佐久コスモスRC
3月10日(月)合同例会の為
定刻受付あり
上田RC
3月10日(月)夜間例会の振替休会の為
定刻受付あり
千曲川RC
3月5日(水)定款による休会
定刻受付なし
3月19日(水)職場例会の為
定刻受付あり

5. 週報
丸子、上田西、東御RC

ニコBOX 両川 栄 委員

例会終了後現及び次期合同理事会
当クラブ、3月4日(火)創立夜間例会 18時より

本日の配布物

週報 1218号、ロータリーの友 2月号

委員会報告

クラブ広報情報委員会 小池平一郎委員

～「ロータリーの友」2月号内容紹介～

ラッキー賞

NO.8 矢島 英夫 君

神津恭通君	今日は伊沢さんと徳田さんに囲碁の話しをして頂くようですが、解りやすくお願い申し上げます。
矢島英夫君	初めて食事中にラッキー賞をいただきました。今年は食事のことでラッキーがありそうな気がします。
橋詰希望君	伊沢先生、徳田先生、囲碁の話しをありがとうございます。IMは出席予定でしたが、大雪のため旅行の出発時間を早めたため欠席しました。すみません。
小林秋生君	先週の始めにかけて記録的な豪雪になりました。常に雪との係わりがある雪国の苦しみがよくわかりました。

【出席報告】 清水 泰男 委員

	会員数	出席	M・U	欠席	出席率
本日 2月25日	24	19	事前2名	5	78.26%
前々回 2月4日	24	21	事後1名	3	86.96%

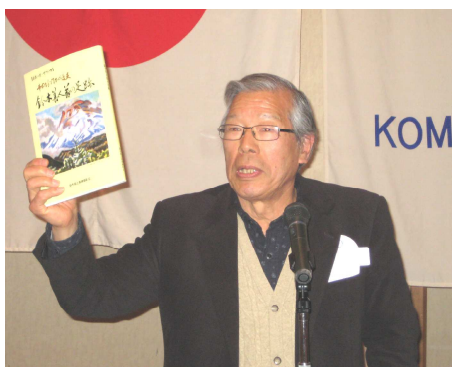
次週のプログラム: 創立夜間例会 / 次々週のプログラム: 青少年活動報告(ガールスカウト)

【本日のプログラム】 『囲碁歴史文化の里信州小諸をめざして』

【講師】

囲碁の里信州小諸づくり委員会

事務局長 伊沢輝男様



鈴木翁之寿碑顕彰会

徳田和美様



<小諸における囲碁文化>

冊子「鈴木善人翁の足跡」より

冊子「鈴木善人翁の足跡」(平成22年3月14日刊行)

平成21年度長野県元気づくり支援金事業

1. 鈴木善之助(号:善人)関係年譜

1828年 誕生(東京牛込)

1840年 本因坊家(日海が始祖、寂光院塔頭本因坊に住む、囲碁将棋の達人で織田信長・豊臣秀吉・徳川家康に仕える)に入門

1855年 尾州囲碁指南役鈴木丈清養子となる

1868年 鈴木善之助、小諸荒町の海應院碧落庵に妻子を伴い定住。号を善人(よしと)と称す

1894年 光岳寺に「鈴木翁之壽碑」建立され有志者 171名(小諸を中心東信～北信) 碑篆額長野県知事浅田徳則撰並害北村方義(著名な着家・教育者) 発起人 碓氷(井)勇海(光岳寺住職)以下 8人 石工佐藤君次郎宗義

1899年 1月30日小諸繁昌記:「囲碁博士鈴木善人死亡。行年72才、2月1日門弟手厚く光岳寺に葬る」

(2)鈴木翁とつながっていた人々

～近隣の住民と冠婚葬祭等交流～

有志者の分析と分布

木村熊二先生 当時の信濃毎日新聞「信州の奇傑」の一人として紹介、記事となる

高橋平四郎氏を「賭け碁」から救った鈴木翁(製糸工場で働く)小山敬吾「千曲川」より

日向吉次郎先生(高橋平四郎の製糸工場釜「炊き」)碑(碑文は崎藤村人は亡くなくても声は響いている)

1889年(明治32年)4月崎播村先生(28歳):小諸義塾塾任(鈴木翁との接点は?) 1892(明25)年:木村熊二先生伝道で信州へ

(3)佐久地域の囲碁愛好者は組織的につながっていました

2. 囲碁の里信州小諸づくり委員会の活動

(1)構成団体 小諸商工会議所日本棋院

小諸支部鈴木翁之壽

(2)目的 小諸の囲碁文化の調査と継承普及、交流促進と地域の活性化

(3)活動内容

平成23年度

日本棋院理事長名碁聖九段大竹英雄氏招聘記念「囲碁大会」

第1回小諸市民区対抗親睦囲碁大会開催10チーム参加

平成24年度

長野県元気づくり支援金事業「囲碁の里信州小諸づくり」

一般小中学生対象囲碁入門講座

第1回囲碁の里信州小諸囲碁まつり開催(棋士等3名)

第2回小諸市民区対抗親睦囲碁大会開催10チーム参加

第2回小諸市民区対抗親睦囲碁大会開催10チーム参加

平成25年度

第2回囲碁の里信州小諸囲碁まつり開催

(棋士3名招聘も台風接近のため来れず囲碁大会のみ開催)

第3回小市民区対抗親睦囲碁大会開催12チーム参加

普及活動 町屋館初心者向け「囲碁教室」開講

(原則毎週土曜日10時～12時)

現在11人(大人7人小学生4人、男女比:男7人女4人)

町屋館「囲碁交流サロン」開設

(毎週土曜日午後1時～5時)

小諸市内(荒町)の各地域で囲碁交流会が定期的に開催されています

～ 囲碁の里信州小諸づくりをめざして～

1. 絵を描くのは、囲碁と同じです(文化勲章受賞小山敬三画伯)

表紙は「紅浅間」 小山敬三画伯が「来し方の記」(信毎)で、「絵を描くのは、囲碁と同じです。目先のことだけでなく、一目打つに盤面全体をみていなくては…」～略～。又、結局デッサンとは描かれる一点一劃が全画面にいか互いに響き合い、～均衡を保ち 合わせるか会得するのが問題であって、丁度、名棋士が、一石打つたびにそれが全盤上の動きに及ぼす影響を二手三手と先を読んで打つような仕組みを会得することだと心得～」

2. 囲碁のルールは五つ

(1)陣地(地)の多いほうが勝ち

(2)黒石と白石を交互に碁盤の交差点(交差点数:)に置く(一度置いた石は動かせない)

(3)相手の石を囲めば取ることができる(石を取る技術用語:ケタ・オイトシ・シヨウ・ウツガエシ)

(4)碁石を置けない場所があります(着手禁止点)

3. 囲碁の用具

(1)碁盤(ごばん) 縦と横それぞれ19の線が引かれています交差点の数は ()

(2)碁石(ごいし) 白と黒の石<白は上手、黒は下手>

(3)碁笥(ごけ) 石を収納したり、相手からいただいた石を保管する

4. 生活の中の囲碁

用語先を読む、布石を打つ、捨石作戦(生活の中から消えるつつある囲碁文化)

5. 囲碁の特徴と効用

<囲碁と将棋の違いを考えました>

(1)将棋:王将を捕らえると終了

最初からマスの中に駒が置かれ役割が決っている。

限られた駒数と決められた役割の中で大局観が養われる 人間の個性をつかむ

相手陣地に入ると駒の役割が変化する

相手の駒を取り再活用(役割はそのまま) 国時代でも敵方の有能な人材を活用して占領政策を進める

将棋は駒を指す表現 将棋の駒を動かす(相手に向かって行動をおこす)

(2)囲碁:陣地(交差点の数 目と言います)の取り

合いで、陣地が多い方が勝つ
何も無い碁盤の上を対局者が白黒の碁石で絵を描く作業(小山敬三画伯の言葉) 手談
まったく自由な中で大局観(戦略)が養われる
対局者の意志で石を置く場所が決める
石を置くことによりその役割が決る
取った石はゲームの中で再利用はできないが、
最後に相手の陣地を埋めることができる

囲碁は石を置く・打つ(発信をする)表現 ある
状態を保つ目的で石を置く
(3)囲碁と将棋が重なる例えば「ケイマ」
6. 囲碁の効用
頭脳ゲーム(頭の体操・高齢化のボケ防止)
脳への働きかけ 計算や読み(左脳)と芸術(右
脳、琴棋書画) 大局観が養成
碁友 他者との交流を深めるツール 手談

【先週繰り下げ分のプログラム】

『IM・会員セミナーに参加して』

【報告者】 渡辺 文夫 会員

去る2月8日はよりによって参加するのを遠慮したくなるような大変な雪降りでしたが、私は参加するのに意義があると思い、午後1時15分前に到着する様行きました所、当クラブの参加者は驚いたことに大体揃って居りました。

1時ジャストに小諸グランドキャッスルホテル3階にてIM会員セミナーが小諸RC、上田西RCホストにより開催されました。

東信第一グループは(千曲川・軽井沢・小諸・小諸浅間・南佐久・佐久・佐久コスモス・蓼科RC)の8グループ、東信第二グループは(丸子・東御・上田・上田東・上田西・上田六文銭RC)6グループ総勢240名のところ参加者は130名程でした。

東信第一グループの南佐久RCが雪のために集団欠席となり、理由は50cmの積雪で動けないとのことでした。

2600地区宮坂ガバナーの挨拶で始まりました。内容は聞きなれないRLIとIMの説明がありました。RLIについては私にはまだ理解出来ていませんので今後の勉強課題です。

IMについて東信第一、第二のロータリアンがお互いに知り合い仲良く意見交換してよりよいロータリアンに成長して、それが会員増強につながれば良いのではないかと理解いたしました。特にIMは日本だけに残ってしまっていて現在世界的には消えてしまっているとのことでした。

1時30分より約1時間RLIの一環として会員セミナーテーマ(私のエンジョイロータリー)のディスカッションありました。

ディスカッションリーダー 井出 秀 (佐久RC)
パネリスト 荻原 雅隆 (小諸RC)
パネリスト 成田 守夫 (上田西RC)
パネリスト 松井たか子(佐久コスモスRC)
パネリスト 上島 孝雄 (上田 RC)

内容の主なものは

- (1)人を幸せにすれば自分も幸せになる、
- (2)ロータリーの友の卓話の泉を見て仲間になった
- (3)自分自身が立派な人間にならないと会員増強することはできない
- (4)ロータリーを理解させるには米山奨学生の話をして会員増強に結び付けたなどでした。

14時40分から「IPS細胞が切り開くこれからの医療」の題名で基調講演が始まりました。講師は京都大学IPS細胞研究所、副所長の中畑龍俊教授(小児科専門)で、当研究所の所長はノーベル生理学医学賞を受賞した中山伸弥京都大学教授です。

未来の医療、たとえば移植に頼らないで体内の臓器の再生につながる可能性の研究を現在は血液・マウス・豚の体内で人間の臓器をつくる等研究しておりまして、今後10年程で見通しがつくとのことでした。また世界難病である(1)パーキンソン病、(2)目の疾患 網膜疾患(加齢黄斑変性)、(3)脊髄損傷(マウスで実験)、(4)筋ジストロフィー、(5)無菌性髄膜炎等に光が差し出したとも言えるようです。京都大学IPS細胞研究所は、現在300名の職員で研究を続けて居るとのことです。

以上